



As-me ESTELLE

# 第54期（2012年3月期）

## 決算説明会 資料

2012年5月29日

証券コード:7872 JASDAQ

As-me エステール株式会社



# 目次

I. 2012年3月期 決算概要	・・・ 2
II. 今後の方向性	・・・ 16



## I . 2012年3月期 決算概要

1. 2012/3期 決算ハイライト
2. 2012/3期 決算サマリー
3. 損益の状況
4. 利益率の状況
5. 既存店売上高の推移(宝飾店)
6. セグメント別売上高
7. 財政状態
8. 財務の改善状況
9. 連結キャッシュ・フローの状況
10. 店舗展開状況
11. 地域別店舗配置(宝飾店)
12. 通期業績予想(連結)
13. 配当実績と予想

# 1 2012年3月期 決算ハイライト

(単位:百万円)

	2011/3	2012/3	前年同期比 増加率	<中期経営計画> 最終年度計画 (2013/3期)
売上高	27,067	29,177	7.8%	28,937
営業利益	1,303	2,513	92.7%	2,092
経常利益	1,340	2,565	91.4%	2,197
当期純利益	647	1,100	70.0%	1,160

## 2 2012年3月期 決算サマリー

中期経営計画の目標を1年前倒しで達成。東日本大震災の影響を早期に脱し、既存店売上高も前年水準を上回るなど、売上は堅調推移。経費の抑制もあり、増収増益。

- 売上高は前年度比7.8%増。売上高総利益率は前期水準を維持。その結果、売上総利益も同7.8%増。
- 販管費は前年度比若干増(同85百万円増)にとどまり、営業利益は前年度比92.7%増の25億13百万円計上。
- 経常損益は前年度比91.4%増の25億65百万円計上。純利益は前年度比70.0%増の11億円計上。

### 3 損益の状況

(単位:百万円)

	2011/3	2012/3
売上高	27,067	29,177
売上原価	10,386	11,201
売上総利益	16,681	17,976
販管費	15,377	15,462
営業利益	1,303	2,513
営業外損益	36	52
経常利益	1,340	2,565
特別損益	△328	△455
当期純利益	647	1,100

#### 【主な収益変動要因】

売上高は前期比+2,109百万円の増加。売上高総利益率は前年度と同水準の61.6%を維持。売上総利益は同+1,295百万円増加した。

■売上は震災後早期に回復し、既存店売上はほぼ一貫して堅調に推移したことが増収の主因。既存店売上は前期比+6.9%と大きく増加した。

■販管費は売上増に伴う販促費等の営業経費増加を、不採算店の閉店・本部管理費削減などにより吸収。販管費は概ね前年度並にとどまった。営業利益は前期比+1,209百万円増加。売上高営業利益率は8.6%。

■主な販管費の増減は、販促・広告宣伝費前期比+104百万円、給与手当同△124百万円、支払家賃同△197百万円など。

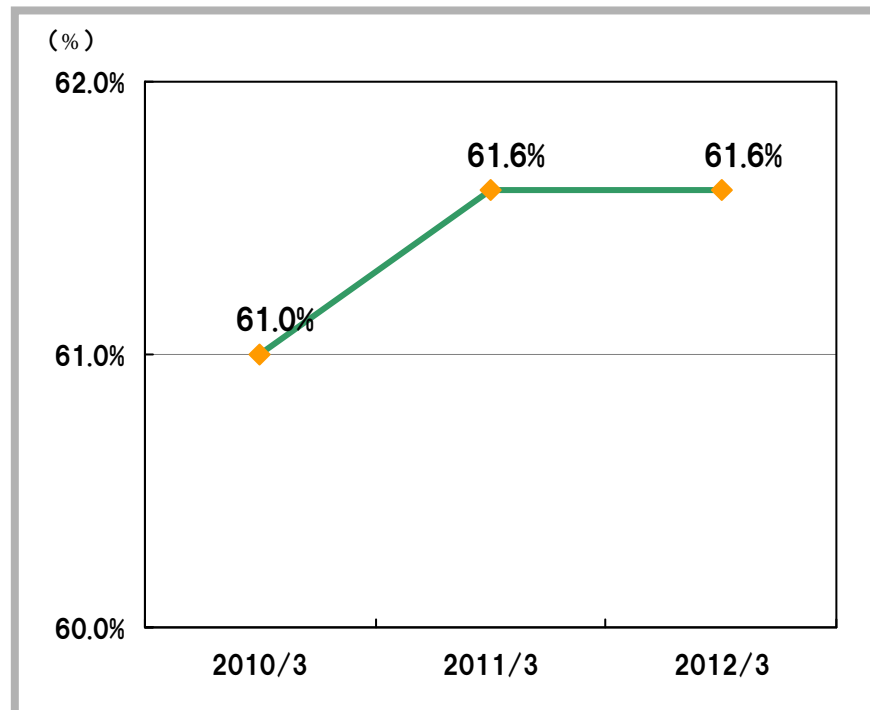
■支払利息の減少(前期比△59百万円)により営業外損益は若干の改善。経常利益は同+1,225百万円増加。売上高経常利益率は8.8%。

■特別損失の主なものは減損損失302百万円。

■当期純利益は、1,100百万円と前期比+453百万円増加。

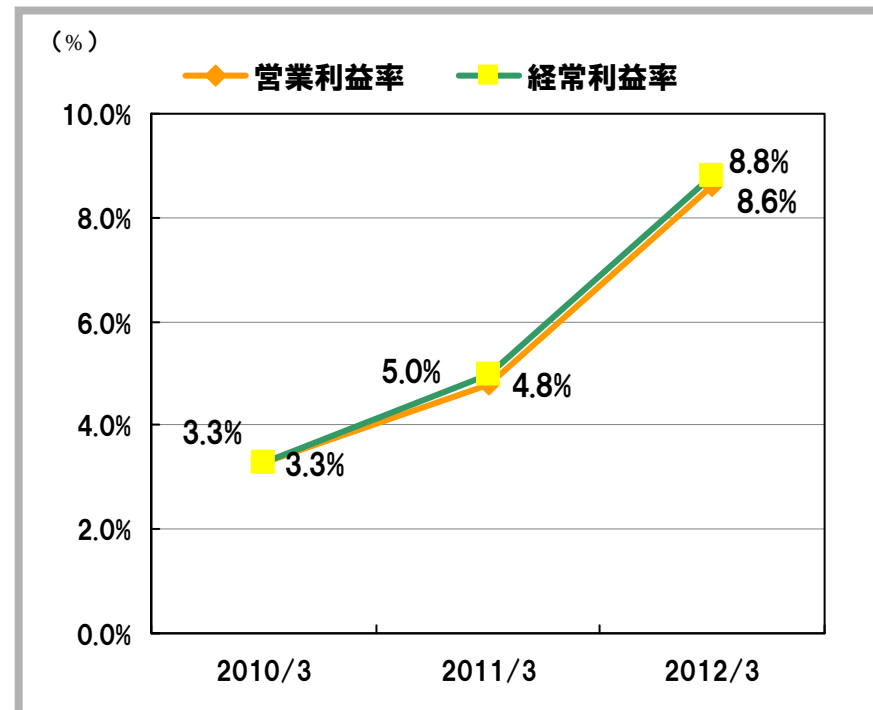
## 4 利益率の状況

### ■売上高総利益率の推移



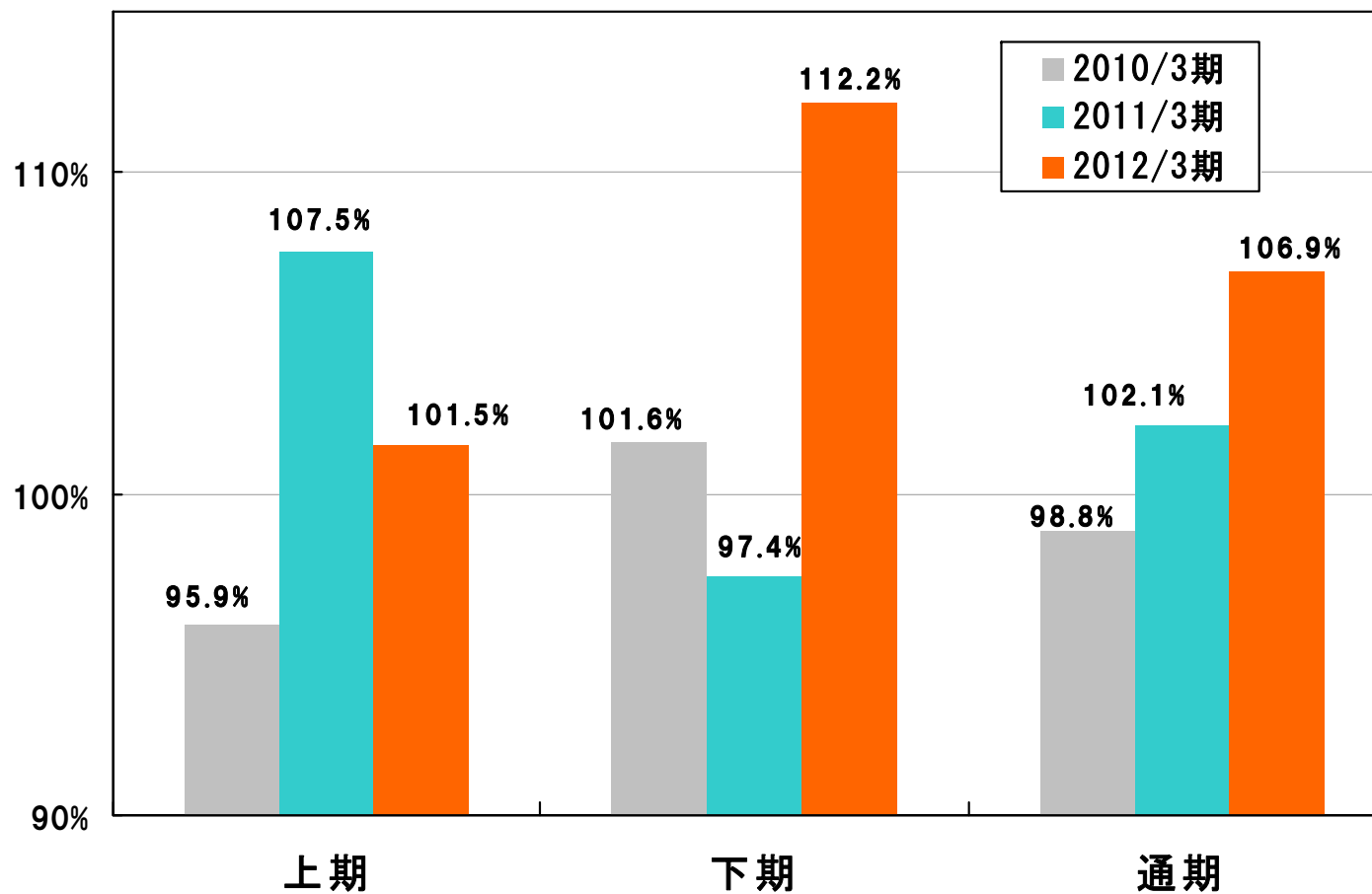
大幅増収となる中、原価率の水準に十分な留意を行い、売上総利益率は前年同期と同水準の61.6%を維持。

### ■売上高営業利益率・売上高経常利益率



営業利益率、経常利益率も引き続き上昇。諸経費についてはメリハリのある管理を行い、売上増の中で販管費をほぼ前年水準に抑制できたことから、営業利益、経常利益は大幅増益となった。

## 5 既存店売上高の推移(宝飾店) (前年同期比増減率)

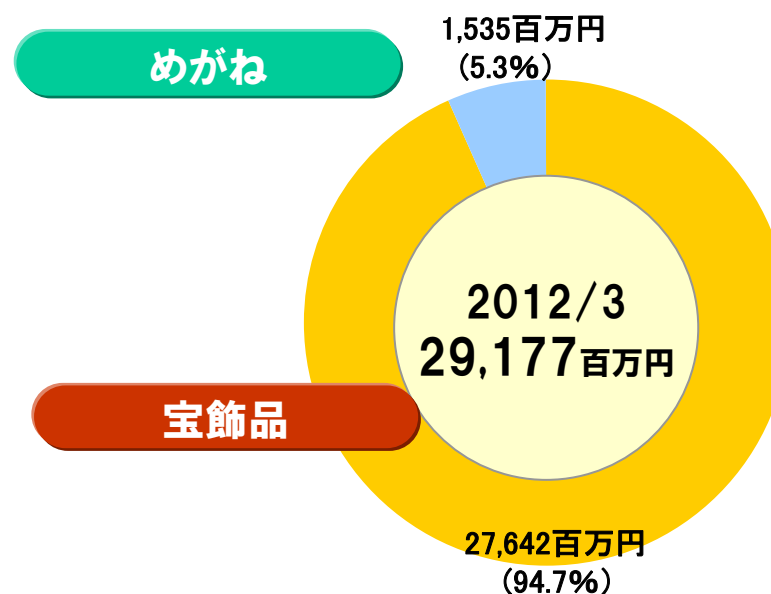
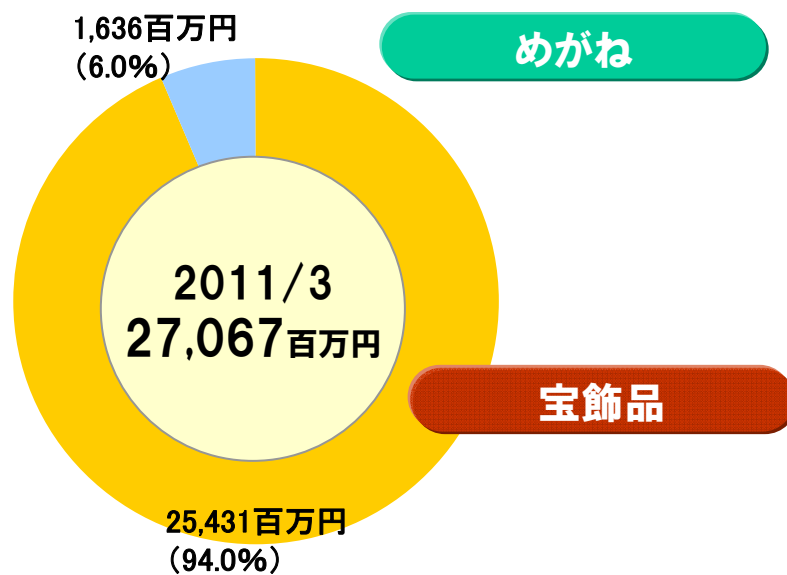




## 6 セグメント別売上高

(単位:百万円)

	2011/3		2012/3	
宝飾品	25,431	94.0%	27,642	94.7%
めがね	1,636	6.0%	1,535	5.3%
売上高合計	27,067	100.0%	29,177	100.0%



## 7 財政状態

(単位:百万円)

	2011/3	2012/3
流動資産	19,162	21,121
固定資産	10,978	10,239
資産合計	30,141	31,361
流動負債	10,926	11,577
固定負債	9,690	9,361
負債合計	20,617	20,938
株主資本合計	9,312	10,229
その他の包括利益 累計額合計	210	193
純資産合計	9,523	10,422
負債純資産合計	30,141	31,361

### 【主な財政状態の変動要因】

■ 流動資産の増加+1,959百万円の主な内容は、現預金の増加+1,993百万円、売上債権の増加+841百万円。また棚卸資産は△339百万円、繰延税金資産は△464百万円減少した。

■ 固定資産の減少△738百万円は、主に敷金保証金の減少△395百万円と有形固定資産及び投資土地建物の減少△255百万円によるもの。

■ この結果、総資産は1,220百万円の増加。

■ 負債合計は+321百万円増加。主な増加要因は、仕入債務の増加+544百万円、未払法人税等+190百万円、退職給付引当金+120百万円。

一方、借入金・社債は△361百万円、負ののれんが△360百万円減少した。

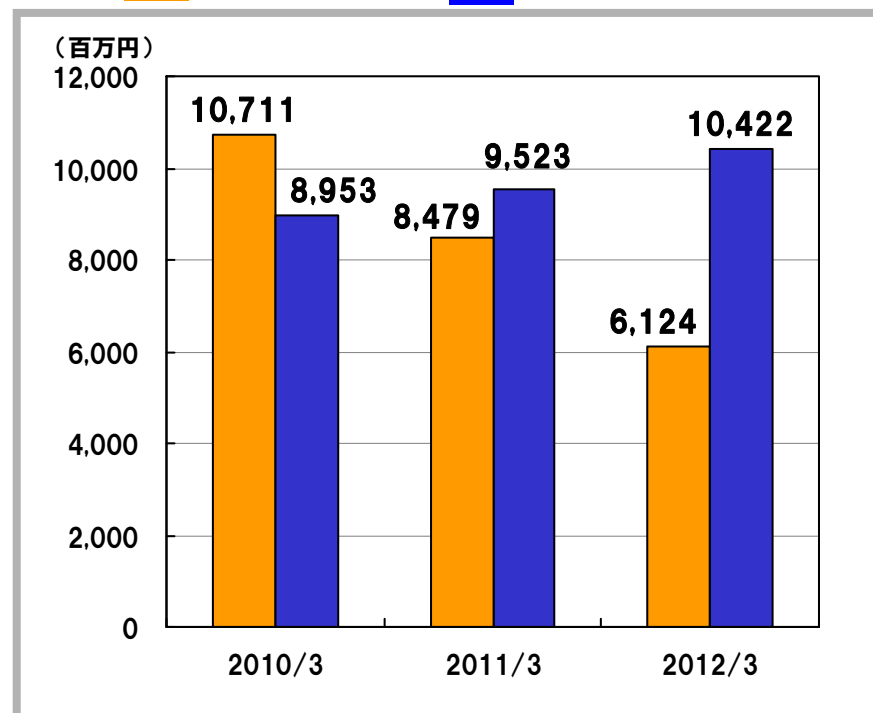
■ 純資産は、+898百万円増加。

自己資本比率は2011/3期 31.6% → 2012/3期 33.2%と上昇。

## 8 財務の改善状況

### ■ ネット借入金と自己資本の推移

■ ネット借入金 ■ 自己資本



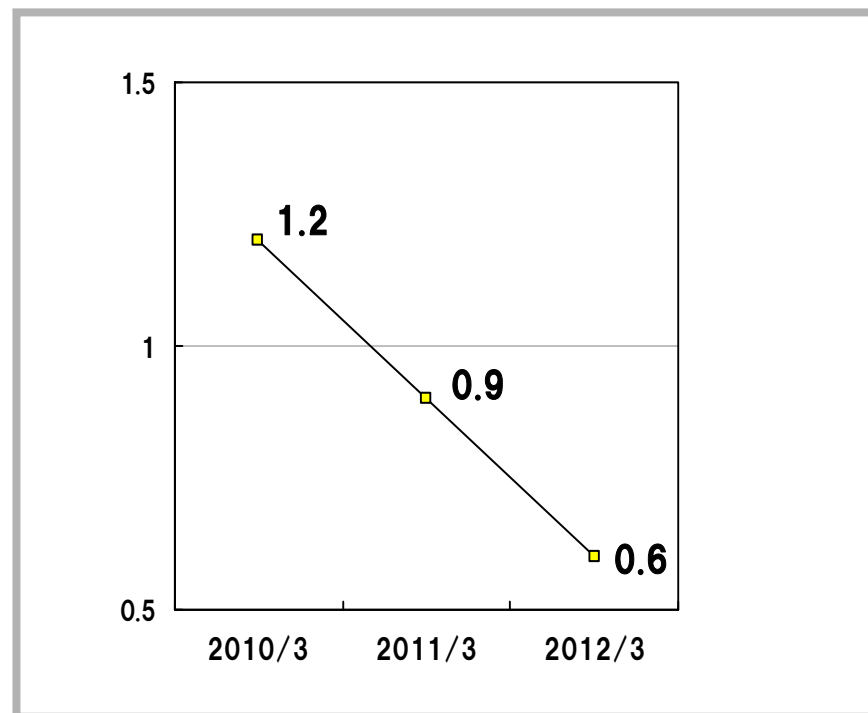
借入金は着実に減少。現預金を控除したネットの借入金も60億円台に。

(ネット借入金=借入金+社債-現預金)

(自己資本=株主資本+その他の包括利益累計額)

### ■ ネットDEレシオの推移

ネットDEレシオ=(借入金+社債-現預金)÷自己資本



借入金の減少、自己資本の増加を受け、DEレシオも低下続く。ネット借入金ベースで0.6へ。

## 9 連結キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

	2011/3	2012/3
営業活動による キャッシュ・フロー	2,304	2,771
投資活動による キャッシュ・フロー	170	△134
財務活動による キャッシュ・フロー	△2,057	△652
現金及び現金同等 物の増減額	415	1,983
現金及び現金同等 物の期末残高	3,874	5,867

### 【主なキャッシュ・フローの内容】

#### 【営業活動CF】

##### (資金増加要因)

税金等調整前当期純利益 2,110百万円

減価償却費 437百万円

棚卸資産の減少 363百万円

仕入債務の増加 542百万円 など

##### (資金減少要因)

売上債権の増加 841百万円

負ののれん償却額 360百万円

法人税等支払額 168百万円 など

以上により営業活動CFは、2,771百万円の資金増。

#### 【投資活動CF】

##### (収入)

敷金保証金の返還 631百万円

##### (支出)

新規出店、改装等の固定資産の取得 430百万円

敷金保証金の差入 229百万円 など

以上により投資活動CFは、134百万円の支出超過。

#### 【財務活動CF】

借入金・社債の減少 361百万円(純額)

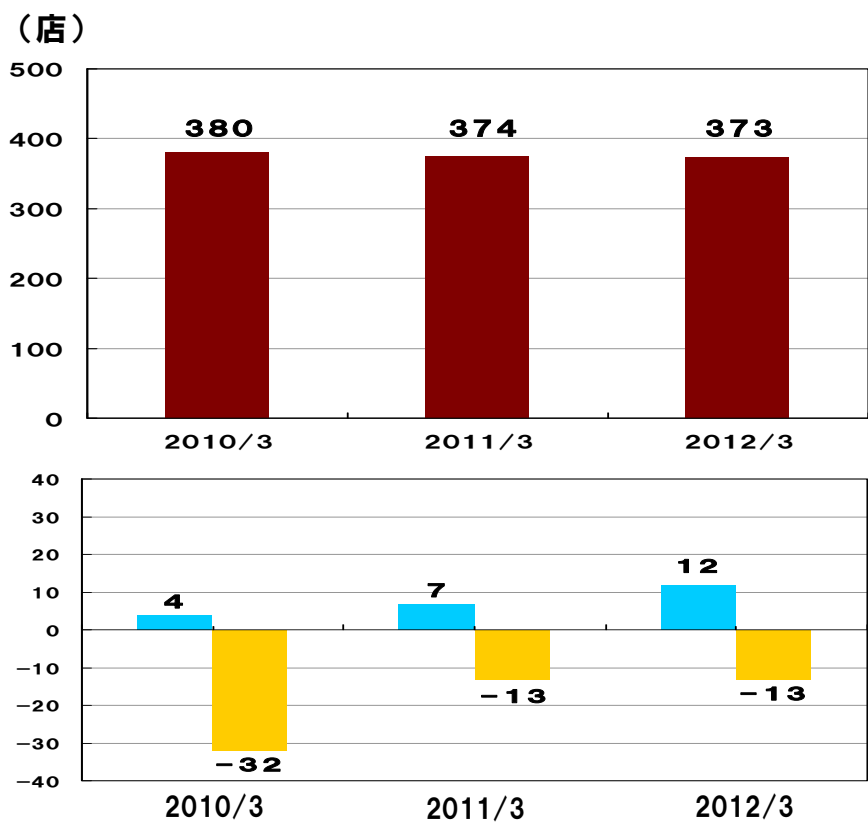
配当金支払 178百万円 など

以上により財務活動CFは、652百万円の支出超過。

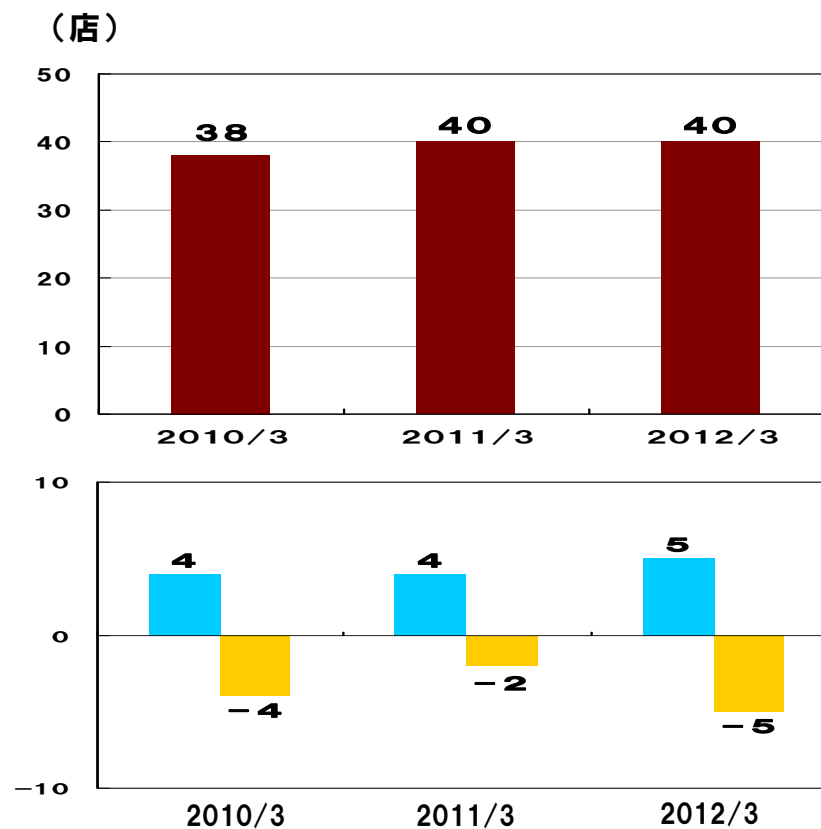
# 10 店舗展開状況

## 宝飾専門店 『As-meエステール』

■ 期末店舗数 ■ 出店 ■ 退店

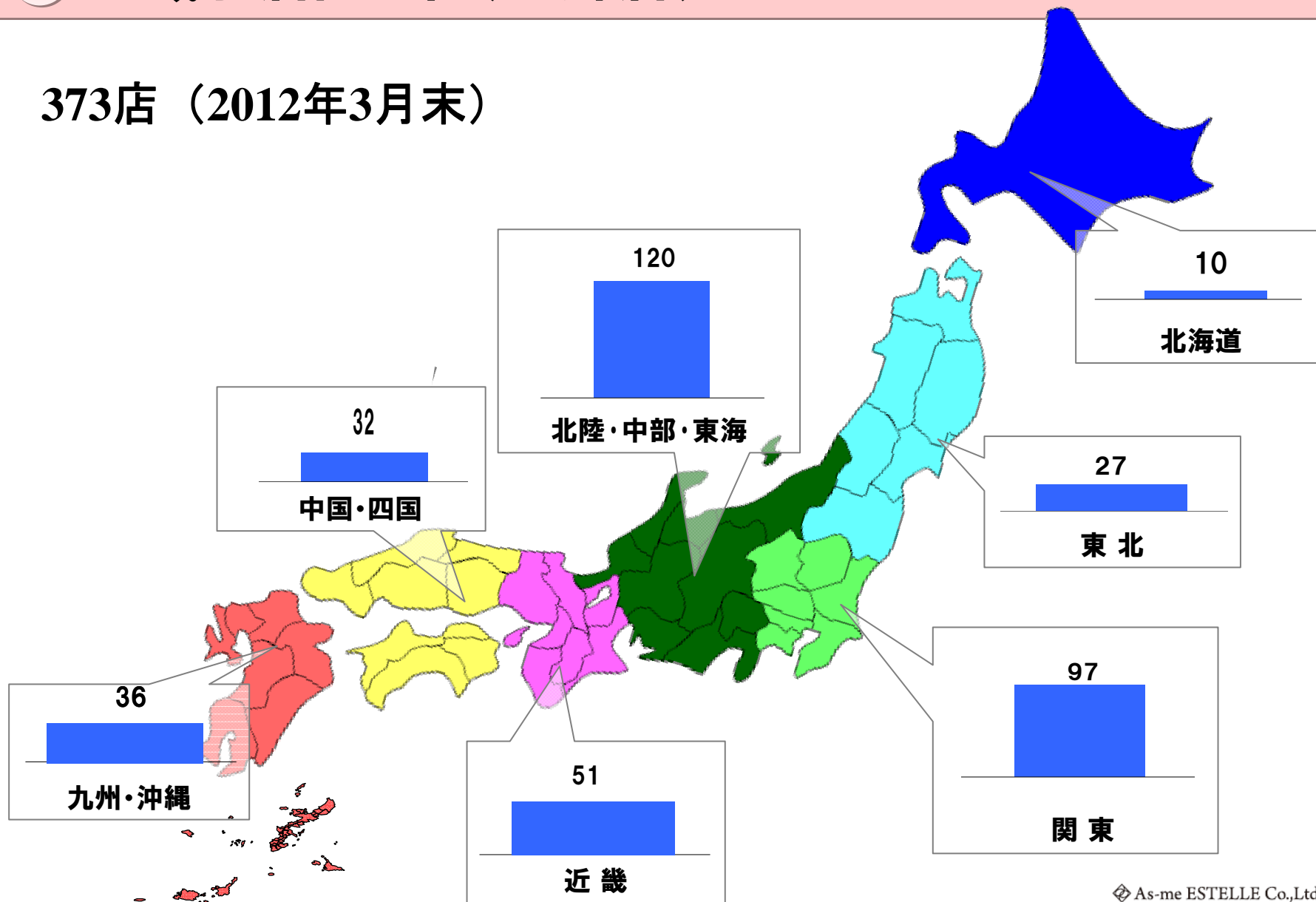


## メガネ専門店 『キンバレー』



# 11 地域別店舗配置(宝飾店)

373店 (2012年3月末)



## 12 通期業績予想(連結)

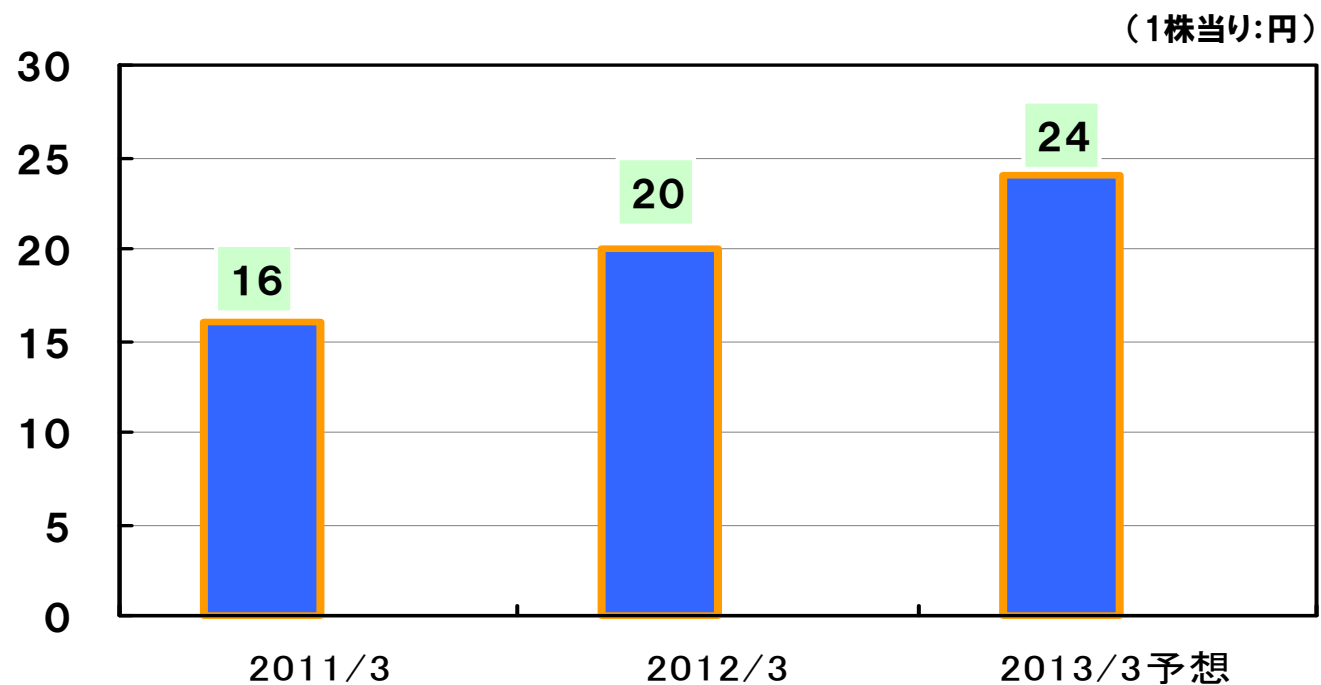
(単位:百万円)

	2012/3	2013/3 (予想)	前期比増減率
売上高	29,177	29,830	2.2%
営業利益	2,513	2,757	9.7%
経常利益	2,565	2,900	13.0%
当期純利益	1,100	1,700	54.4%

■ 店員教育・顧客管理・SPA機能・商品企画を更に充実し、顧客層を拡大するとともに、売上高総利益率の向上を目指す。

■ 店舗規模は維持しつつ、店舗の入れ替えを行い、営業利益率の向上を図る。

## 13 配当実績と予想



業況の伸張とともに、每期着実に、増配しています。  
今期2013/3期は、24円を予想し、株主様への還元に心がけてまいります。





## II . 今後の方向性

1. 中期経営計画の基本方針（2010/3期～2013/3期）
2. 中期経営計画の達成と新たなスタート台へ
3. 今後の方向性の基本的な考え方

# 1 中期経営計画の基本方針

(2011/3期～2013/3期)

顧客満足度の向上

収益力アップ

SPA（企画製造販売）

製造ノウハウ  
（エステル）

+

小売ノウハウ  
（あずみ）

1. 営業シナジーの追求
2. コストシナジーの追求
3. 財務力強化

## 2 中期経営計画の達成と新たなスタート台へ

### ●中期経営計画を1年前倒しで達成

- 両社の人材のスムーズな融合を達成
- 営業面で両社のノウハウの共有・浸透に伴う営業力強化
- 合併に伴うコスト削減とコスト意識の強化



### ●合併後における業務の一体的運営の基盤構築にメド



### ●合併後の成果を深化させつつ、新たなスタート台へ

### ③ 今後の方向性の基本的な考え方 —基本の徹底—

#### 1. 人材の育成の強化

- 教育体制の高度化
- 人材育成意識の一段の浸透

#### 2. 顧客層の拡大

- より幅広い顧客層にアピールできる店舗へ
- 海外マーケットへの模索

#### 3. マーチャンダイジング力の強化

- 商品企画力のさらなるブラッシュアップ

## 【お問い合わせ先】

As-me エステール株式会社

総務部

TEL : 03-5777-5120

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予測に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用下さい。当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願い致します。なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転載などを行われぬようお願い致します。